

検体検査実施料新規収載のお知らせ

謹啓 時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素は格別のご愛顧を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、平成 29 年 1 月 31 日付「保医発 0131 第 3 号」厚生労働省保険局医療課長通知により、下記の項目につき検体検査実施料が平成 29 年 2 月 1 日より適用されますので、ご案内申し上げます。

敬白

記

保医発 0131 第 3 号 (H29.1.31)

—平成 29 年 2 月 1 日より適用—

項 目 名	実 施 料 (区 分)	判 断 料	備 考
好中球ゼラチナーゼ結合性 リポカリン (NGAL) (尿)	210点 (D001-16)	尿・糞便等検査 34点	検討中 (注)

注)イ 本検査は、急性腎障害の診断時又はその治療中に、CLIA法により測定した場合に算定できる。ただし、診断時においては1回、その後は急性腎障害に対する一連の治療につき3回を限度として算定する。なお、医学的必要性からそれ以上算定する場合においては、その詳細な理由を診療報酬明細書の摘要欄に記載すること。

ウ 本検査と区分番号「D001」尿中特殊物質定性定量検査の「16」L型脂肪酸結合蛋白(L-FABP) (尿) を併せて実施した場合には、主たるもののみ算定する。

■臨床的意義

好中球ゼラチナーゼ結合性リポカリン (neutrophil gelatinase-associated lipocalin ; NGAL) は、疎水性物質の運搬体であるリポカリンの一種で、ヒト好中球の分泌顆粒から分泌され、ゼラチナーゼ B (コラーゲン分解酵素) と結合する 25kDa の糖蛋白です。

NGAL は、腎障害に伴う炎症に反応して速やかに尿細管で発現が誘導されることから、腎障害時に腎組織、血中、尿中濃度が著しく上昇します。そのため、尿中 NGAL の測定は、血清クレアチニンや尿量では捉えられなかった早期の急性腎障害 (acute kidney injury ; AKI) の診断を可能にすると考えられます。

本検査は、急性腎障害 (AKI) の病態を鋭敏に反映する尿中バイオマーカーとして、早期診断やより早い治療介入に高い有用性があります。

以上

* 収載項目についての詳細は担当営業部員または下記へお問合せ下さい。

インフォメーション : 029-837-2721 (代)

2017-B-001